

令和5年度「市長と語ろう会」実施報告(概要)

実施目的

本市の広聴機能の充実に向け、市の重要施策や事業について、市民が要望・提案等ができる機会を拡充し、市政に関する関心や理解度を向上させるとともに、市民とのコミュニケーションの中で、各地域や世代・職業等による個別課題を共有し、市民と行政との協働によるまちづくりを推進する。

開催テーマ

若者にささる
これからの広聴・広報を考える

開催日程など

◆第1回

日時：7月9日(日) 10時～12時半

場所：高知県立大学永国寺キャンパスA110教室

参加者：14名(高知大学、高知県立大学、龍馬学園、高知商業高等学校)

◆第2回

日時：8月22日(火) 14時半～16時半

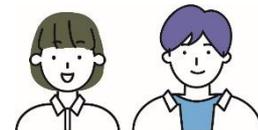
場所：オーテピア4階研修室

参加者：14名(こうちこどもファンド助成団体・こども審査員)



市長からの説明内容

- 広聴・広報を取り巻く社会情勢
- 高知市の現状(市民意識調査の結果より)
- 高知市広聴広報戦略プラン
- 高知市の広聴・広報の取組例
- 高知市の主な取組例(広聴)
出前講座、市民ウェブモニター、市長と語ろう会
- 高知市の主な取組例(広報)
市長定例記者会見、ホームページのリニューアル、高知市PR大使、動画広報の活用、広報紙のリニューアル
- 高知市の主な取組例(SNS)
LINE、Facebook、YouTube、Instagram



第1回の意見交換で出た主な意見・提案 等

- ・匿名で対話できるアプリの導入
人見知りの人でも職員と対話可能。
文字入力しなくても仮想空間などでAI(人工知能)が代わりに話してくれる機能があれば、障がい者も利用できる。
- ・行政手続き動画の配信
転出入などの行政の手続きは、慣れていない学生には難しい。
学生などが実演した動画を配信することで、学生の手続きへのハードルが低くなり、行政にも関心が持てる。
- ・ホームページへのAIチャットボット機能の追加
市役所のホームページは、情報が見つげにくい。企業のホームページのように、利用者が入力した質問項目に即答できたりすると、短時間で知りたいことを知ることができる。

第2回の意見交換で出た主な意見・提案 等

- ・関心のない層を取り込む「流し見できる情報」の利用
ネット上の情報は、閲覧履歴等で提供される情報が多く、関心がない情報に触れる機会が少ない。新たに市政に関心を持ってもらうきっかけとして、無作為に情報が流れて来るLINEのリール動画やTikTokなど、流し見できる情報発信があっても良い。
- ・位置情報を利用した情報発信
SNSなどでは、位置情報をもとに表示される情報が想定されている。
そのような機能を活用すると、市民の人に情報を届けることができる。
- ・対話型のコミュニケーションの重要性
一つのテーマに対して、いろいろな視点や立場の人の意見を聞くことで、新しい解決策を見出すことができる。
しかし、そのベースとなる知識の共有や教育が難しい。

その他、多くのご意見やご提案をいただきました。今回いただいたご意見やご提案は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。